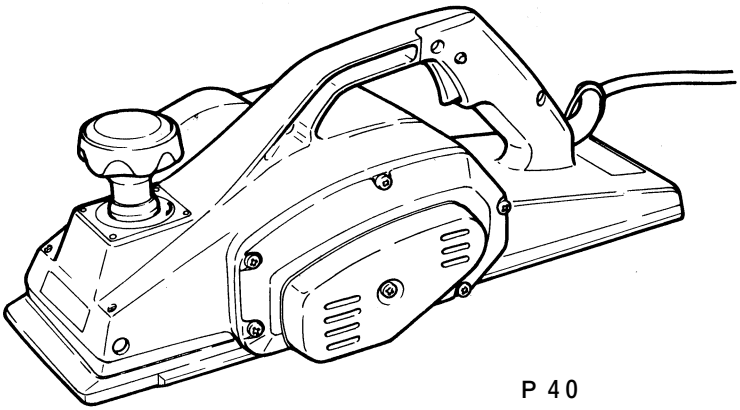
Hitachi Koki

日立かんな

P 40
P 50SA
取扱説明書

このたびは日立かんなをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



P 40

HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ……2

かんなの使用上のご注意 ……5

各部の名称 ……7

仕　　様 ……7

標準付属品 ……8

別売部品 ……8

用　　途 ……8

作業前の準備 ……9

ご使用前に ……10

削　り　方 ……11

かんな刃の取付け・取りはずし・刃高調整 ……13

かんな刃のとぎ出しについて ……17

保守・点検 ……18

ご修理のときは ……20

全国営業拠点 ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告：**誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意：**誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注：**製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

かんなの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，かんなとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電などのとき，感電の恐れがあります。
（詳細は９ページの「１.アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

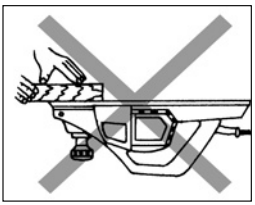
③ **使用中は，本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

④ **切削する材料は，安定性のよい台に置いて作業してください。**
台が不安定ですと，けがの原因になります。

⑤ **材料を手に持っての切削はしないでください。**
かんな刃に触れ，けがの原因になります。

⑥ **本体を万力などで保持して，かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。**
かんな刃に手や身体が触れ，思わぬけがの原因になります。

⑥



⑦ **使用中は，切粉排出口に指などを入れないでください。**
回転しているかんな刃に触れ，けがの原因になります。

⑧ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑨ **誤って落としたり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑩ **継ぎ（延長）コードを使用するときは，アース線を備えた３心キャブタイヤケーブルを使用してください。**
アース線のない２心コードですと，感電の原因になります。

⚠ 注　意

① かんな刃や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② かんな刃の取扱いには，手袋，布などで手を保護し，十分注意してください。

不用意に扱うと，切り傷の原因になります。

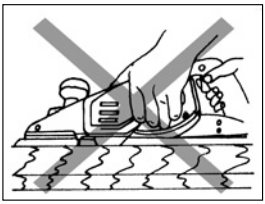
③ 使用中は，本体の底面に手など身体を近づけないでください。

かんな刃に触れ，けがの原因になります。

④ ベルトカバーの底面は，ベルトが覆われていないので，使用中，手などを近づけないでください。

ベルトに手が触れ，けがの原因になります。

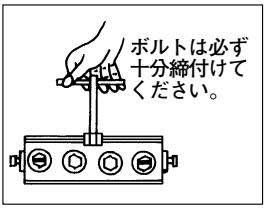
④



⑤ かんな刃の交換や刃高調整後は，かんな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。

ボルトがゆるむと，思わぬけがの原因になります。

⑤



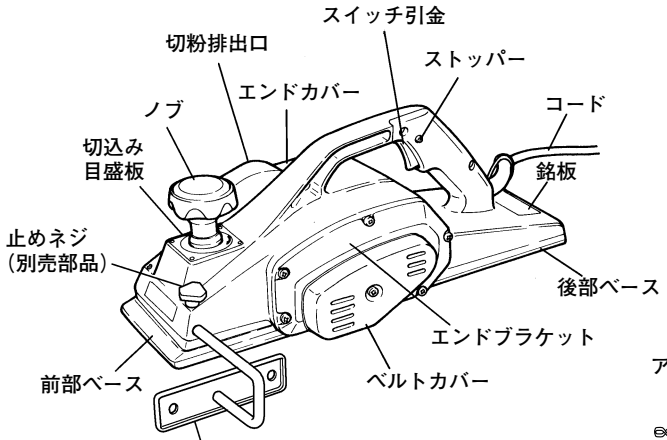
⑥ スイッチを切った後も，惰性で回転しているかんな刃に注意してください。

手などが触れると，けがの原因になります。

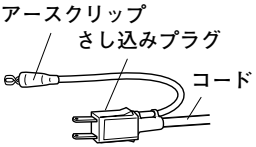
⑦ 回転させたまま，台や床などに放置しないでください。

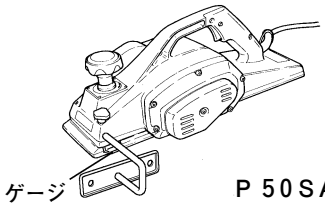
けがの原因になります。

各部の名称



Ｐ４０　図１－１



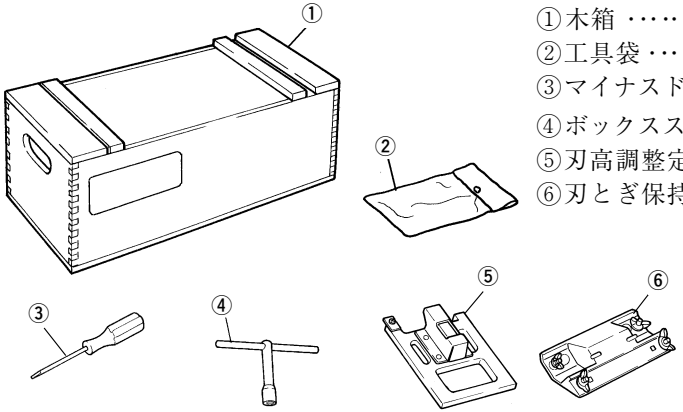


Ｐ５０ＳＡ　図１－２

仕　　様

項目＼形式	Ｐ４０	Ｐ５０ＳＡ
使用電源	単相交流 50／60 Hz　共用　電圧 100 V	
切削幅	136 ㎜	156 ㎜
最大切込み深さ	3 ㎜	
全負荷電流	12 A	
無負荷回転数	16000 min^{-1} {16000 回／分}	
消費電力	1140 W	
モーター	単相直巻整流子モーター	
質量	7.4 kg(コードを除く)	7.6 kg(コードを除く)
コード	アースクリップ付３心キャブタイヤケーブル ８m	

標準付属品

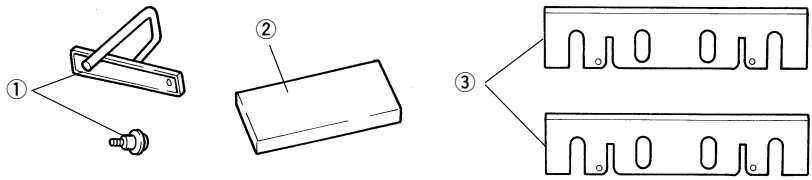


①木箱 ……1 個
②工具袋 ……1 個
③マイナスドライバー ‥1 個
④ボックススパナ……1 個
⑤刃高調整定規……1 個
⑥刃とぎ保持具……1 個

図　2

別 売 部 品

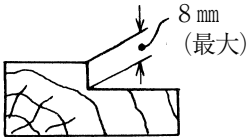
①案内定規（止めネジ付属）
②水トイシ
③超硬ブレード（P 40 用）



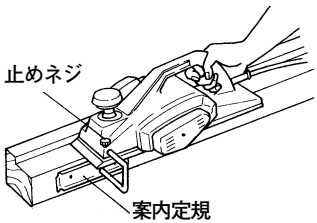
用　　途

○ 木材のかんな削り

〈平削り〉



〈相じゃくり〉
（案内定規使用）



相じゃくり時の案内定規の取付け図

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認……

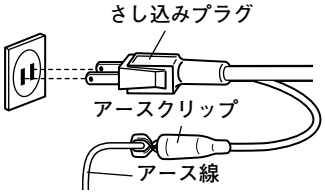
ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下，漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また，本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15ｍＡ以下，動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは，下記図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ，アース線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板，アース棒）を埋め，アース線を接続するなどの接地工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。なお，アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので，絶対にしないでください。



漏電しゃ断器やアース（接地）については，次の法規がありますので，ご参照ください。

労働安全衛生規則（第333条，第334条）

電気設備の技術基準（第18条，第28条，第41条）

2．継ぎ（延長）コード……

⚠ 警　告
• **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれているときには，継ぎコードを用意する必要があります。

継ぎコードは使用する長さに応じて電流を流すのに十分な太さのものをご使用ください。あまり長くしたり細い線を使ったりしますと電圧の降下が大きくなりモーターの力が弱くなります。継ぎコードはできるだけ短かくしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 ㎟	10 m
2 ㎟	15 m
3.5 ㎟	30 m

左の表は，本機に継ぐことのできるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

必ずアース（接地）できる接地用の１心をもつ３心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．作業台を用意する……

しっかりした作業台は安全に能率よく仕事をするために，欠かせないものです。仕事に合った使いよく安全な作業台をご用意ください。

作業台がぐらぐらしていますと危険です。作業台は安定した状態に設置してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと，不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図１－１参照）を引くと入り，離すと切れます。スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．かんな刃の締付けを確かめる……

工場で組立ての際は，すぐご使用できるように，かんな刃取付けのボルトは十分に締付けてありますが，念のため付属のボックススパナでもう一度締付けてください。

4．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

削　り　方

⚠　警　告

- **回転中のかんな刃には手や身体を近づけないでください。**
- **使用中にかんな胴が止まったり，異音を発したときなどには，直ちにスイッチを切ってください。**
- **作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠　注　意

- **運搬は必ずかんな胴が止まってからにしてください。スイッチを切っても惰性で回っているかんな刃に衣類などが巻き込まれたりして，けがの原因になります。また運搬時には，スイッチ引金から指をはなしてください。不用意にスイッチが入り，思わぬ事故をおこすことがあります。**
- **回転するかんな刃にコードを接近させないよう十分ご注意くださ い。**

注　**被削材に釘や異物（ワニス，ペンキ，小石，土ぼこり，砂など）が付着していないことを確認してください。釘や異物は，かんな刃の損傷や異常摩耗をまねく恐れがあります。**

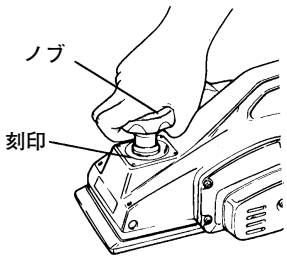


図　3

注　**ノブのネジは特殊ネジになっております。分解などでノブをはずし，再び取付けた場合実際の切込み量と目盛りの値が一致せず半回転（180 °）だけずれていることがあります。このような場合，一度ノブをはずし，取付け直してください。ネジ込む位置をはずした位置より 180°ずらしますと，切込み量と目盛りが一致します。**

1．仕上面は……

荒削りでは切込みを深くして能率的に削りますが，削り屑がつまらないで，きれいにとび出すように加減してください。仕上げ削りのときは切込みを浅くし，送りを遅くするときれいな面が得られます。

2．切込み深さの調節……

⑴ ノブを右（時計方向）に回し，刻印を目盛板の目盛りに合わせます。目盛りの単位は㎜です。

⑵ 切込み深さは最大０～３㎜まで調整できますが生木や湿った木材のときは，２～2.5㎜を切込みの最大と考えてください。

3．スイッチの操作……

スイッチは，指で引金を引くと入り，離すと切れます。引金を引いてからストッパーを押しますと，引金から指を離しても入ったままになり，連続運転に便利です。切るときは再び引金を引くと，ストッパーがはずれ，引金から指を離すとスイッチが切れます。

4．削り始めと削り終りに……

⚠ 注　意
• **作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れると，けがの原因になります。**

まず，かんな胴を木材の端からはなし，前部ベースを木材の上にのせ，かんなを平らに支えます。スイッチを入れ，そのまま静かに前へ進めます。

削り始めには前の方に力を入れ，削り終りには後の方に力を入れていつもかんなを平らに動かしてください。（図４,図５）

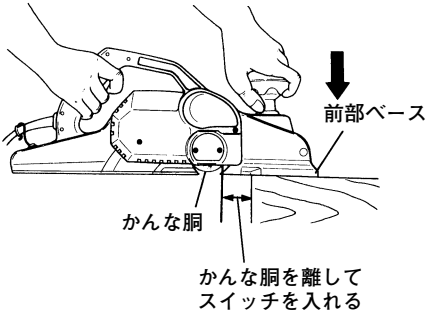


図　４（削り始め）

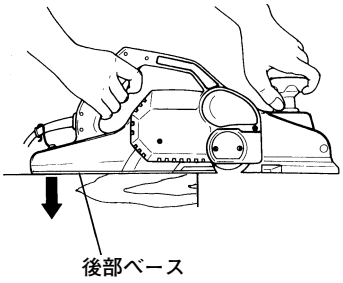


図　５（削り終り）

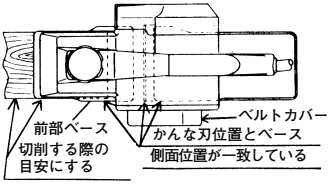


図　6－1

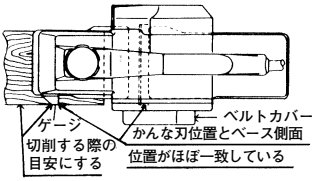


図　6－2

注

- **P40を使用の場合**
  ベルトカバー側のかんな刃位置とベース側面位置が一致しています。切削する際には，前部ベースの前方の側面を木材側面に合わせてください。(図6－1)
- **P 50SAを使用の場合**
  ベルトカバー側のかんな刃位置とゲージ側面位置がほぼ一致しています。切削する際には，ゲージを目安にして切削してください。(図6－2)

5．削り終った後のかんなの持ち方……

削り終って，機体を片手でぶら下げるときなどは，危険防止のため，かんなの刃部(ベース面)が自分の体の方に向かないように保持してください。

かんな刃の取付け・取りはずし・刃高調整

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　意

- **刃物で指などを切らないよう十分注意し作業してください。**
- **かんな本体がグラグラしないよう安定させてください。**

注

- **かんな刃，ブレードホルダ交換時は，必ずそれぞれ「一対」で交換してください。バラバラで交換するとバランスが悪くなり，振動が出て，機体の寿命を低下させます。**

1．かんな刃の取りはずし……

(1) ボックススパナで外側のボルト２本をゆるめ，つぎに，そのままで軽く締めなおします。(図７)

(2) 内側のボルト２本をボックススパナでゆるめて抜き取ります。(図７,図８)

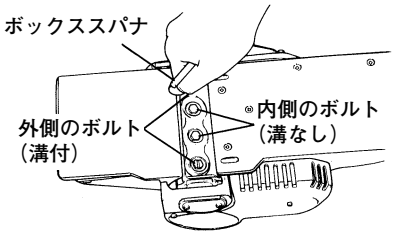


図　7

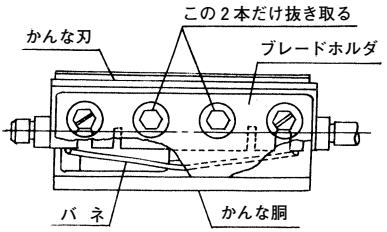


図　8

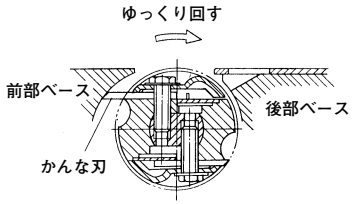


図　9

注 **• 外側のボルトをゆるめすぎていて，かんな刃が前部ベースの内側に飛び出した場合は，ベルトでかんな胴を必ず，矢印方向にゆっくり回し，かんな刃が外部に出た所でかんな刃を取り出してください。**
矢印と反対に回しますと，かんな刃が前部ベースにくいこみ，各部を損傷させます。(図9)

(3) 後部ベースの穴から，付属のドライバーをさし込み，外側のボルトの頭部の溝に合わせてゆるめると，かんな刃はバネ(図８)に押されて数ミリ飛び出します。(図10)

(4) かんな刃の両端を持って，取りはずします。

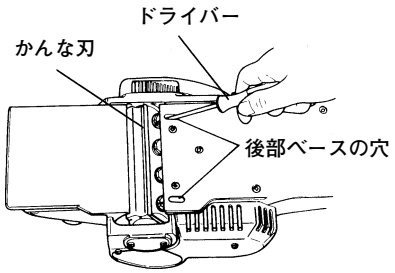


図　10

注 **• 外側のボルトはなるべく抜き取らないようにしてください。**

2．かんな刃の取付けと刃高の調整 ……

⚠ 注　意
• ボルトは付属のボックススパナできつく締付けてください。

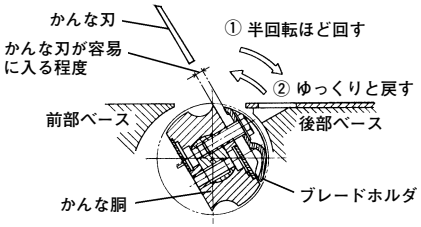


図　11

(1) かんな刃やかんな胴に付いている削り屑をきれいにふきとります。

(2) ベルトでかんな胴を図11の矢印　の方向に半回転ほど回し，次に矢印　の方向にゆっくり回して，かんな胴とブレードホルダとの間にすき間をあけます。

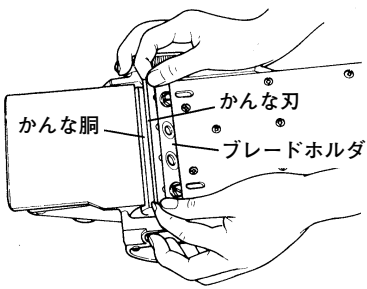


図　12

(3) かんな刃の両端を持ってブレードホルダとかんな胴の間に入れます。(図12)

注 • **ブレードホルダとかんな胴とのすき間はかんな刃が容易に入る程度とし，あまり大きくあけないでください。**

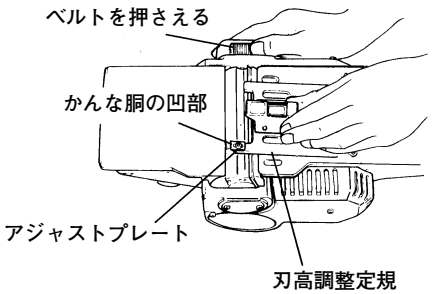


図　13

(4) 刃高調整定規を持ち，その刃先突当部で刃先を押しながら，定規先端部のアジャストプレートをかんな胴の凹部に入れます。(図13，図14)

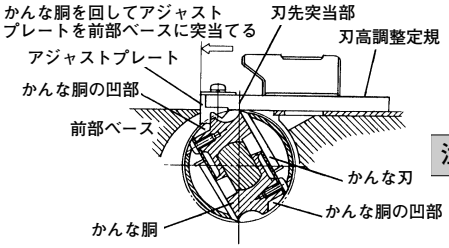


図　14

(5) ベルトでかんな胴を前部ベース側に回し，アジャストプレートを前部ベースに突当てます。(図14)

注 **• 刃高調整定規の磁石にゴミなどがついていますと刃高の精度が悪くなることがあります。ゴミなどがついていないことを確かめてからご使用ください。**

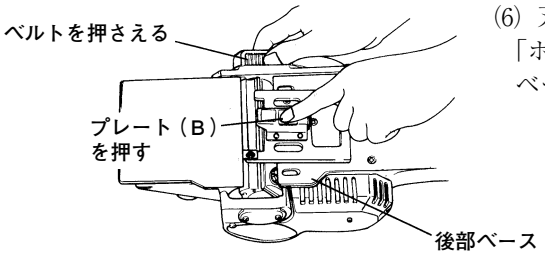


図　15

(6) 刃高調整定規のプレート(B)を指で「ポン」と押すと，刃高調整定規は後部ベースに強く吸い着きます。(図 15)

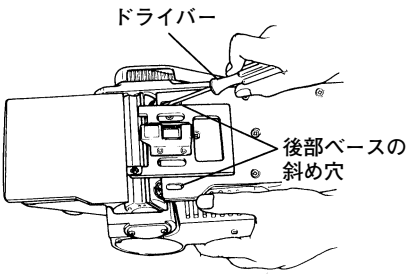


図　16

(7) 付属のドライバーで後部ベースの斜め穴より，外側のボルト2本を最初は軽く，次に少し強く，くり返して仮締めします。(図16)

これで刃高調整ができたことになります。

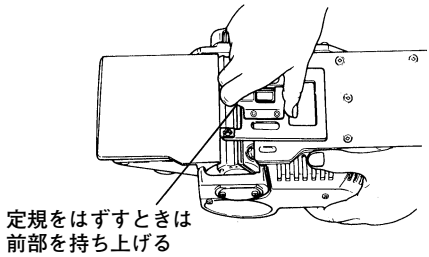


図　17

(8) 刃高調整定規の後部を支点にして，前部を持ち上げ，定規を後部ベースからはずします。(図17)

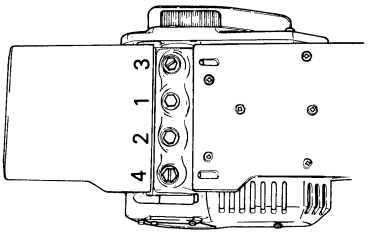


図　18

(9) 抜き取っておいた内側のボルト２本をネジ込み，ボックススパナで４本のボルトを図18の順序で，２～３回くり返して十分に締付け固定します。

(10) かんな胴を反転し，反対側も同じように取付け，固定します。

注 **• ボックススパナの柄に，パイプなどをさし込んで柄を長くして締めますと，ネジ山をいためたりしますから避けてください。**

かんな刃のとぎ出しについて

刃とぎには付属の刃とぎ保持具を使用すると便利です。

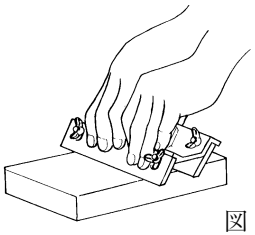


図　19

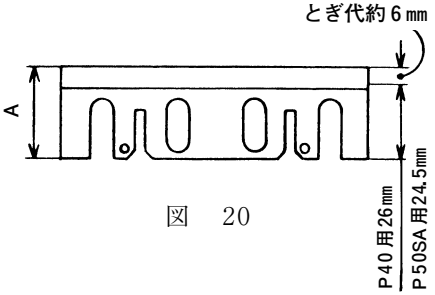


図　20

1．刃とぎ保持具の使い方……

図のようにかんな刃を取付けて２枚同時に同じ角度でとぐことができます。

この場合，２枚のかんな刃の刃先面が同時にトイシに当たるよう，かんな刃を適当に出し入れして調整してください。

2．刃とぎの時期……

木材の種類，切込み深さなどにより異なりますが普通は500ｍ前後削りましたらとぎ直してください。

3．かんな刃のとぎ代……

とぎ代は約６㎜あります。

即ちかんな刃のたけ（Ａ寸法）がＰ40用は26㎜まで，Ｐ50ＳＡ用は24.5㎜までとぎ直しをして使用できます。

4．水トイシを使用するときは……

別売部品の水トイシを使用するときは，水トイシを水に十分浸してからご使用ください。

注 **• 水トイシの面に凹みが生じたまま，とぎますと丸刃になる恐れがありますから，ときどき平らなコンクリートの上ですり合わせをしてください。**

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．かんな刃の交換……

切れ味の悪くなったかんな刃をそのままご使用になっていますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますので早めに研摩をするか，新品と交換してください。

2．カーボンブラシの点検……

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの磨耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが磨耗限度（6㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

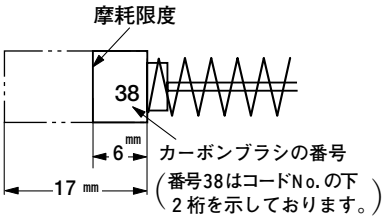


図　21

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号（38）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交 換 方 法

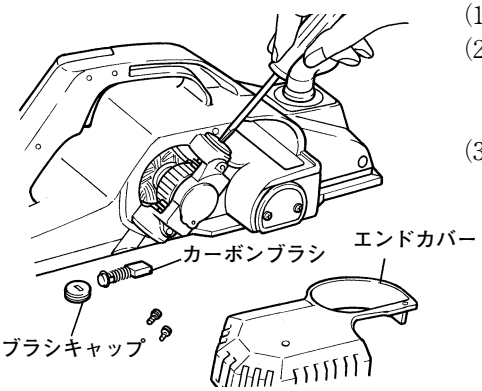


図　22

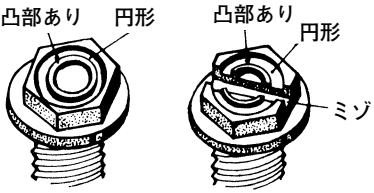
(1) エンドカバーをはずします。
(2) マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずしますとカーボンブラシが取り出せます。
(3) 取付けは，取りはずしと逆に行ないます。

3．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと危険です。

注 **• かんな刃を固定しているボルトを紛失したり，損傷した場合は，必ずボルト頭の円形の中に凸部のあるボルトをお求めになり，交換してください。なお，本体購入時に装着されているボルトの頭には，円形の凹部があるだけで凸部がなく，形状が異なりますが全く支障はありません。**



⑴ ボルト（ミゾなし）　⑵ ボルト（ミゾ付き）

交換用ボルト頭の形状

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をエンドカバーの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．かんな胴のまわりをきれいに掃除してください……

特に湿った木材を削ったあとは，切粉排出口やかんな胴の部分などに付着した削り屑をきれいに取り除いてください。

6．各部の取扱いについて……

注 **• 前部ベース，後部ベースおよび切込み深さ調整ノブは，特に高い精度を必要とする所ですので，入念に加工してあります。乱暴な取扱いをして，この部分をぶつけたりしますと，精度がくるい，切削作業に支障をきたすことがありますから，取扱いには十分ご注意ください。**

7．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

○ お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
○ 軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
○ 温度が急変する場所
○ 直射日光の当たる場所
○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ　　モ

メ　　モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル）	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

● **電動工具ご相談窓口** ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

部品コード　99471103　N